

京都教区時報

第157号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東人 Tel 761-9095

特集 取材レポート 京都マック

幼児教育に おもいうこと

(山科教会主任司祭)

岡 淑人

「教師は授業のとき、自分の知っていることを話す。そのために知識を自分のものにしておかなければならない。講義中、私は一切ノートを見ない。ノートを見ながら講義をするのは給料泥棒と同じである。」
ある大学教授が残して行かれた言葉であり、この言葉の中に正しい教育者の姿勢が示されている。

幼児教育についても同じである。最近幼稚園教育要領に対して新教育なるものが発表され、それに刺激されて、更に各所で幼児教育について論議されるようになった。幼児教育の根底である幼児の能力は、昔も今も変りない。子供に備わっている能力を伸ばすことも必要であるが、それよりも子供が自分を他人の生命、心を大切にすることを導くことは、より大切な教育である。

教育の方法、要領などは他人の例を参考にするのはよいが、まねるのは自分の教育ではない。人のノートを盗み見ながらする教育に等しい。あくまでも自分の教育を考え出して行かなければならない。

幼児教育は、あらゆる教育の基礎であり出発点である。生涯教育が問題となり、見直すときにあたって、その重要性を認め大切にして

行かなければならない。

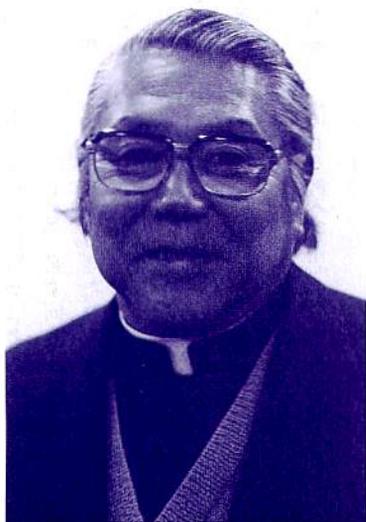
昔から「啐啄同時」(約千年前の禅書「碧巖録」より)といわれているように「啐」(中からつつく)、「啄」(外からつつく)という「つつき合い」によって、ひなが誕生するように、教育は教える者と教えられる者の協力によって成り立つのである。人間に対する神の教育もそのとおりである。

その時、その時の事情によって変わって行くのが幼児教育であるが、変えてよい部分と絶対に変えてならない部分があることに注意しなければならない。

「幼児たちを、そのままにしておきなさい。私のところにくるのを止めてはいけません。天の国はこのようなものたちのものだからである。」

啐そつ
啄たく
同どう
時じ

神の国とは、幼児のような純粋な人々、美しい心の持ち主の集りであり、それこそ神が求めておられる人々である。この美しさを大切に守ってやるのが幼児教育である。子供の心を育てるのは神御自身であり、教師は神の教えに基づいて子供を守るのである。
おとなの間違った考えで子供をスポイル(駄目にする)してしまわないように。



生きて・生きて・わたしたちのこえ

――司祭の人事、任期について私の意見を述べさせて頂きたいと思えます。すでに他教区では、どんなに長くても10年が限度となつてゐる所もあるそうで、任期は決めるべきだと思います。3年2期までが良いのではないのでしょうか。10年以上にもなるとマンネリ化どころか、弊害ばかりで、特に高齢の司祭方に対する配慮は急務のようです。



(三重)

――私は次のような意見をもっています。

1. 教区を長期的にどう運営するか（これは日本教会全体についても同じです）の確固としたヴィジョンを持つ。ヴィジョン委員会があるが委員の選任もいい加減で委員会自体に何の権限もない。
2. 京都教区の統廃合を進めて再編成する。小教区の数が多すぎるから経営が苦しい。最低限信徒2000人いないと教会維持が難しいので小教区の数減らす。
3. 財政的に教区を一つに統合して各教会独自の会計を止める。
4. 教会の縄張りを廃する。教会によって教区司祭の受け持つ所、ミッション司祭の受け持つ所が決まっているが、その区別を廃止する。
5. 司祭は一定の数ヶ所に集まって住んで経費を節減する。各教会へはそこから通勤する。
6. 任期は3年とする。最大5年で異動させる。
7. これによって余つた人員、資金経費は海外の必要とする地域へ送る。

(京都南部)

――私は2年任期で最高4年、どんな事情があつても5、6年が限度だと考えております。理由は、

1. 全体的に司祭と信者がうまくいっていても、必ず何人かは相性の悪い方がでてきたり、意志の疎通ができなく、誤解の生じた場合、どうしても信者が教会を離れてしまうケースが少なくありません。
2. 教会を私物化し、会計、運営は思いのまま、特定のファンである信者を教会を思いのままに動かしてしまふ。
3. 司祭の人数もますます少なくなつていくことも考え合わせ少なくともいくつかのグループに分けて巡回していただく公平になると思います。
4. 三重県はメリノール会という意識を取り除き考えて頂きたいと思えます。今は、教会を越えて、国を越えて司祭の交流もなされると聞きます。転勤を断られる司祭もおられると聞いたこともあり、5月号の京都南部の方のご意見通り、司祭エゴを強く感じます。と同時に信者も自分達のエゴをださないうう気をつけなければいけないと思えます。

(三重)

――結論として、司祭が健康で多人数の教区であれば3年とか5年とか論じていただくのも結構だと思えますが老いて病気でありなが

ら司牧の使命に生きておられる神父様に接しておりますと、そういう取り上げ方をなさる方々の信仰はどこにあるのかと疑問を持ちます。信徒一人ひとりが司祭に何を期待しているのかを考えないで長期留任の神父さまが信徒の活動や信仰の養成の妨げになるように思つてしまつてよいのでしょうか。私たちが新しく生まれ変わること祈り願つて心を合わせていけばマンネリなどという状態にはならないでしょうし、いま無力になつていかに見える共同体が、かえつて本当の信仰を育てるための時の恵みであると思えます。(三重)

今回も4人の方からご意見をいただきました。毎回このように関心をもつていただきありがとうございます。いろいろなご意見をお待ちしています。

時報編集部

投稿×切 8月1日

日系企業「韓国スミダ」の 労働者の闘いが投げかけ ること

河原田 真弓

韓国の日系企業で働く若い女性たちの窮状をご存じでしょうか？ 殆どが15才〜20才代の彼女たちは病人や幼い弟妹を抱え、家計を支えるため、夜間高校に通いながら働いています。その中でもアジアスワニー・韓国スミダ・韓国タナシンで働いていた女性たちは昨年初突然、「今日限りで会社は倒産、本日全員解雇する。」という一枚のFAXを受け取りました。一昨年以來、韓国では30以上にのぼる外資系企業（その半数以上が日系）が廃業・休業・大幅人員削減等を行い、8000人以上の失業者が出ています。――彼女たちは

生活の糧を失い、途方に暮れられました。それから、戦争中は武力で、今は経済力で侵略・支配しようとする日本に対して怒りをおぼえました。

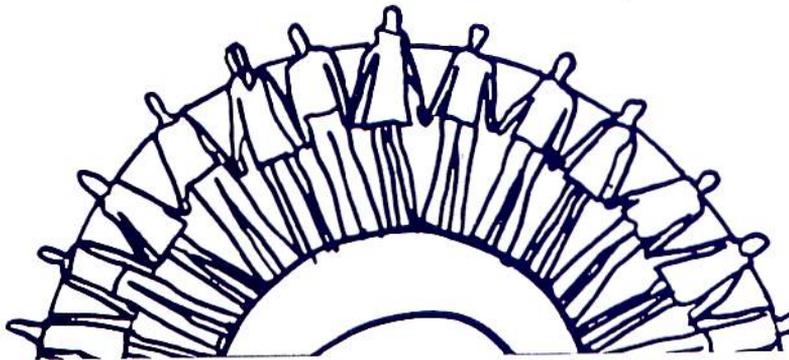
彼女たちは生存権を確保し、労働者として、人間としての尊厳を取り戻すために、昨年11月〜12月、相次いで日本にきました。そして本社社長との交渉による円満解決（FAX1枚による解雇）の撤回、操業再開、従業員の生存権の保障を求めて、雨の日も雪の日も本社前に立ちました。その後、数カ月にも渡る長い闘いの結果、操業再開には至りませんでした。FAX1枚での解雇」という非人間的行為に対する謝罪とその撤回をみました。一番最後まで交渉が難航していたスミダの場合、6月8日の和解に至るまで実に238日も要しました。

彼女たちの闘いは、単なる労使紛争に留まることなく、私たちに多くの問題を投げ掛けてくれます。日本企業の海外進出の在り方、他のアジアの国々に対する日本の差別的な見方・自己中心的な考え、同じ働く女性として、青年として、同じ人間としての生き方や倫理観を考えさせてくれます。

私は東京在住の折り、幾度も彼女たちと出会う機会に恵まれました。出会う度に彼女たちのひっ

迫した気持ちを感じました。けれども、彼女たちの姿の中には抑圧された苦しみや怒りだけでなく、どんなに辛くても希望を持ち続け、仲間や家族に対する思いやりを忘れず、彼らと共に歩み続ける喜びや力強さ―あつい信念―を見いだします。その信念はまさに十字架上のキリストに通じるものではないでしょうか？ 粘り強く、前向きに、喜びと友情と信念を持って自分たちの解放に向かって歩む彼女たちの生き方を目の前にした時、私は自分自身の生き方を問い返されました。そして、「まあ、かわいそう！」からではなく、知ることによって、自分の置かれている足を元をまず振り返り、出来る所から自分の生き方を正していく。そうしたら、彼女たち（のみならず、キリスト）と共に歩めるのではないかと……と感じました。

一見、「自分の生き方や信仰とは直接関係ないやん」というように見えます。しかし、一歩踏み込んで視点を移せば、こんなにも多くの課題と出会います。「共に行こうこの道を、仲間の手を取り合っ



て。最後には一つになるために。」そう歌いながら歩み続ける韓国の若い女性たち。凜として力強いその歌声は、私たちへの語りかけのようにも聞こえないでしょうか？

取材レポート

京

都

M

A

C

〔マック〕

どんな中毒者でも
必ず回復できる—アルコール・薬物・センター
からのメッセージ—

このA.A.のミーティングの中で時々「M.A.C.（メリノール・アルコール・センター）って何だろう」という話がある。M.A.C.とは、アルコール依存症の人たちがそこに

12のステップからできている。それは人間がよりよい生き方をする

AA（アルコールホーリクス・アノニマス）とは経験と力と希望を分かち合って共通の問題を解決し、他の人々もアルコール中毒から回復するように手助けしたい、という男女の仲間の集まり—AAハンドブックより。

現在ではメリノール会とは直接関係はないが「M.A.C.の名称からメリノール宣教会との関係を聞かれます。最初始めた人がメリノール会の司祭だったのでその人の功績をたたえて施設ができた。今回の京都M.A.C.設立にあたってもそうですが、いつでもカトリックが協力的にしてくださいませ」とその関係について話してくださいました。

M.A.C.のプログラムは

「最初は朝10時～11時、午後1時30分～3時、夕方はA.A.のミーティングと1日3回のミーティングがある。A.A.のミーティングはいろいろな所でされている。（フランススコの家、小山、西陣など）

M.A.C.（マック）とA.A.について

いて飲まない生き方をするためにリハビリというか訓練というか指導をする施設。

ためのステップです。

A.A.の12ステップ

1. われわれはアルコールに対して無力であり、生きていくことがどうにもならなくなったことを認めた。
2. われわれは自分より偉大な力が、われわれを正気に戻してくれると信じるようになった。
3. われわれの意志といのちの方向を変え、自分で理解している神、ハイヤー・パワーの配慮にゆだねる決心をした。
4. 探し求め、恐れることなく、生き方の棚卸表を作った。
5. 神に対し、自分自身に対し、もう一人の人間に対し、自分の誤りの正確な本質を認めた。
6. これらの性格上の欠点をすべて取り除くことを神にゆだねる心の準備が、完全にできた。
7. 自分の短所を変えて下さい、と謙虚に神に求めた。
8. われわれが傷つけたすべての人の表を作り、そのすべての人たちに埋め合わせをする気持ちになった。
9. その人たち、または他の人びとを傷つけない限り、機会あるたびに直接埋め合わせをした。
10. 自分の生き方の棚卸しを繰り返し続け、誤った時は直ちに認めた。
11. 自分で理解している神との意識的触れ合いを深めるために、神の意志を知り、それだけを行なっていく力を、祈りと黙想によって求めた。
12. これらのステップを経た結果、霊的に目覚め、この話をアルコール中毒者に伝え、また自分のあらゆることに、この原理を実践するように努力した。

（AAワールドサービス社の許可のもとに再録）

プログラムを通じて

よく「しんどいでしょね、苦しいでしょうね」と言われます。だけど私たちはぜんぜん我慢して

いるとか、意志で飲まないようにしているのではない。自然にステップをしていくうちに飲みたくなくなってきたんです。そして、アルコールを飲むということに捕らわれなくなりました。解放されたんです。でもね、それまではさんざん悪いこととして、道徳も、知性もなく、今晚どうして飲もうかそればかりでした。それが、誰もそんなことを考える人がなくなり、自分が思っていた仕事やれるようになる。本当に信じられないけど。」そして、「人間って誰でもたすけ合

危険ですよということばに私はぎよつとした。ひよつとすると私も……。

私たちはどうだろう

取材を通して、私は今の自分の生き方についてどんな問いかけをしているのだろう。「人間として明るく生きなければならぬ」と話してくださる大川さんの言葉には重みがあった。私たちは、ではどんな生き方をしているのだろう。自分自身に問いかけてみても、答が見つからない。私も何か〇〇〇依存症になっているのではないかと考えてしまった。自分でどうして生きていきたいかという問いかけを忘れていた。自分自身の生活の中でふり返り、ふり返り見つめていき、私も明るく一歩踏みだし



京都MAC(マック)の専従者の大川さん

た生き方をしていきたいと思った。京都にMACができたことをみなさん一人でも多くの方にお知らせ下さい。(文責 磯野)

京都MAC(マック)

住所

〒京都市北区衣笠御所の内町4 衣笠教会敷地内

☎075(465)3634

オープン時間

午前9時〜午後5時30分

(年中無休)

●年中無休でミーティングを開いています。

●教会をお借りしているのは好意からだけです。

●政治、宗教、宗派とは関係がありません。

●無料です。

●グループカウンセリングがあります。必要に応じて個人カウンセリングもあります。

●家族のカウンセリングもいたします。(無料)

●マックの目的はただ苦しんでいる中毒者を助けたいだけです。

●いつでも、訪れたり、お電話ください。お待ちしております。

学習会・集会

▼第9回京都東九条現場研修「東九条に学ぶ」 私の課題を探る | 差別と社会構造 8月28日〜9月1日 カトリック希望の家 参加人数15名前後 費用7,000円

▼アジア太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会 第4回京都 8月9日PM6時〜 京都カトリック会館 問合せ☎075(981)8175野田

第2回広島 8月6日PM2時〜 カトリック幟町教会 問合せ☎082(271)9655吉野

第5回大阪 8月15日AM10時〜 大阪YMCA会館ホール 問合せ☎06(562)7740事務局

黙想会

▼静寂を聞く 8月4日〜5日

聖ヴィアートル修道会北白川修道院 「神との出会い、神が私を愛される」 18歳以上の男子 会費2,500円 〆切7月28日頃

▼京都教区南部中学生会の合宿 8月24日〜26日 メリノールハウス 費用6,000円 問合せ☎075(811)4484多田

ことばのこト



「開かれた教会」という言葉ももうずい分、耳なれてきました。でもみなさんにとって「開かれた教会」って聞いたとき、どんなイメージを思いうかべますか。

- ―いつでも教会に司祭がいる
- ―教会の扉がいつも開いている
- ―初めて教会に来た人に、みんなが声をかけ、お世話する
- ―ミサが終ったあと、みんなが集い、日常生活のことやいろいろな問題を語り合えるような教会
- ―教会が地域の行事に場所を提供する
- ―ダンスパーティー、演奏会、講演会が多い
- ―ミサを広く理解してもらうために、フォーク・能・などを取り入れたミサ作りをしはじめた

―神父と役員との密室会議がなくなりオープンになる

―ミサの中で、社会のいろいろな問題を考え分かち合える教会

―クリスマスや復活祭のミサに教会外の市民の人々に積極的に参加を呼びかける

―女性の聖体奉仕者や侍者への道が開かれている

―小教区を越えた活動や教会外での活動にも参加している など

NICEの後「開かれた教会」という言葉が何度も出てきて、もう本当は聞きあきちゃった。でも、なんだか違うんだな。みんなと話していても「えっ？」って聞きなおしたり、「私の言ってるのはそうじゃないんだけどな」とか思うことってない？ それぞれがそれぞれに理解しているのだけど、いつまでもみんながそれぞれのままだと、いつになっても一緒の考えになれなくて。でもいつまでも考え続ける世界なのかもしれないな。

参考図書

- ともに喜びをもって生きよう
- ともに手をたずさえて
- 新しい風
- 開かれた教会をめざして

(いずれもカトリック中央協議会より)

お父様 じいちゃん

現在、京都教区には、教区外で活躍しておられる神父様が何人いらっしゃいます。その中のお一人、国本神父様を京王井の頭線、神泉駅まん前のマンションにお訪ねしました。

10階の居室には、グランドピアノが据えてあり、音楽家の部屋、という感じですよ。

現在は、上智大学、中央大学で音楽史などを教えておられ、上智コミュニティ・カレッジでは教会音楽について講じておられます。

日曜日は渋谷教会、関町教会にミサの手伝いに行かれ、毎朝は五反田の聖心侍女会でミサをされています。

神父様は、神学校に入る前から音楽と関わりが深く、神学校卒業前に当時のライフ院長から、司祭として音楽を勉強することを勧められ、「そのようなこともできるのか」と気づき、今の道を選ばれました。

「昨年から今年にかけて、ロー

マに勉強に行っていました。(大塚神父様には大変世話になったそうです)、特にグレゴリアン聖歌の原型を学ぶことができたのは大きな収穫だった。それをなんとか日本で生かしたい。」

「今は、教会の音楽のために、出番を待ちつつエンジンをかけているところです。ローマでの体験を生かして、ドライで、現代的でグレゴリアンの源泉のような歌をつくりたいですね。」と目を輝かせて話して下さいました。

そして、新しいミサ曲を、もうすでに作曲しはじめていらっしゃる神父様。そのタレントを、京都教区のため、日本の教会のためにぜひ生かしていただきたい、と願わずにはいられません。(5)

(神父様の作曲のものは典札聖歌152番などがあります)

国本 静三師



大切なこと それは信仰

—a coisa important
é a crenga—

唐崎教会 山岡 光

去る5月19・20日の二日間、大津市の唐崎教会に於いて、青年センターの運営委員会が開かれました。

19日の晩は、運営委員と滋賀県の青年たちとの親睦会と題してにぎやかに交流がもたれました。20日に行われるフォークミサの歌の練習、雑談、そして時には真剣に何かを語っている場面も見られました。少し内向的な私達、滋賀県の青年にとっては、とても良い機会だったと思います。京都南部、北部、奈良そして三重の青年の方々と交流ができ、とても楽しい時を過ごしました。やはり広く付き合うと視野が広がり、そうなることによって、自分、即ち滋賀の一青年としての立場が分

かり、今後どうすればよいか、また、どうするべきか、ということに気付いてきた様な気がします。

今回の親睦会で滋賀県の青年の個々に感じたことが、今後の活動に現れてくることと思えます。

20日は、運営委員の方々と共にフォークミサが行われ、私は初めての体験に興味津々、ミサに授かりました。そしてミサが終った最初の一言「いいものですね。」と思わず呟きました。

運営委員会では、主に青年の教会離れの問題が話し合われました。小教区のほとんどの方は、「遊び」から親睦を深め、積極的に教会の行事に参加し、そしてその中で神と出会えれば、それでよいとおっしゃっていました。でも中には、聖書などを勉強することこそ青年の集まりだと、おっしゃる方もいて、やはりそういうものかなと思うことも、しばしば。私達青年センターの運営委員は、一人でも多くの青年に色々な行事に参加して頂きたいので、そう堅苦しくならなくても……。「遊び」の中で神と出会えれば、それでいいでしょう。

((())) あんてな

外国人登録法の 改正を要求して(3)

—編集を終えて

どちらが

本当の福音宣教か

アルフォンソ・ガレロン師は差別的な法律に従うことは出来ない、指紋押なつ拒否という立場を取って約4年。ミサの中でも機会あるごとに、差別・人権について語ってきた。『なぜミサのお説教で差別の話や人権の話をしなければならぬのか』と、教会を離れていった人もいる。『なぜ日本に住んでいて、日本の法律を守れないのか』と言ってきた人もいる。

『だから、教会の信者数は4年前にくらべて少なくなった。しかし、今いる人たちは本当のことを知ろうとしている。信者数がへららないようにすること、知ろうとしている人たちが増えることと、どちらが大切なことだろう』

「特別在留許可」が出たあと、「神父様、日本で宣教が続けられるようになってよかったですね」という手紙が来た。『だけど強制退去になったほうが、ボクにとっては宣教になったと思う』と。ガレロン師は拒否してから、日

本と韓国・朝鮮の歴史やその他色々なことを勉強し、知れば知るほど、まちがった法律だということが解ったと語る。『反対する前に必ず歴史その他のことを知ってから反対してほしい。知らないで、知ろうとしないで反対したり、間違っているということは言えないのだから』そのとおりだと思う。また、『知ろうとしないことは、知らないことより罪が重い』とも語る。これも大変耳が痛い。

『知ること』の中には、うれしい、楽しい、面白いことの他に、悲しい、苦しい、つらいことも含まれる。『知ること』は本当に大変である。しかし、キリストと共に歩むことで、知ることの苦しみは半分になると信じ、私たちは知らなければいけない。苦しみがともなうが、必ずよるこびもともなうことを信じなければいけない。

(文責 青木公子)

お知らせ

教区スケジュール

7月

1日(日)京都結婚互助会相談会

報交換及び相談室

5日(木)司祭評議会(カトリック会館)

9~23日子羊会ヨーロッパ

14日~15日S・V・P研修会

(大阪理事会と合同)

20日 S・V・P中央理事会

21日 正平協京都協議会学習会

(カトリック会館PM6時半)

29日 子羊会例会(大津教会)

8月

5~7日教区中学生広島巡礼

5日 京都結婚互助会PM1:00~3:00

12日 教区一斉平和祈願ミサ

17日 S・V・P中央理事会

12~16日カトリックぶどうの会

ワークキャンプ

13~15日滋賀県夏期錬成会

18~19日教会学校教師会研修

会(メリノールハウス)

21~23日司祭修道士研修会

20~24日南部高校生会ワークキャンプ

25~26日子羊会合宿

26日 SVP施設訪問(聖マリアス)

▼カトリック「京都ぶどうの会」ワークキャンプのご案内

真夏の瀬戸の海辺で軽作業に汗を流しながら、身体障害(ハンセン氏病後遺症)の人々と交流しませんか。

らい病に罹患した人々の人生、人権無視の強制隔離と恐怖(現在は完全治癒している)、戦前戦後期の冷遇、そして今も残る知ろうとしない人々の偏見をのり越えて、生き抜いてこられた人たちの交わりは、きつとあなたの価値観を変え、尽きることのない生命の水の恵みを与えられて、喜びのうちにも、まだ知らない人々に伝えたい。なるでしょう。

日時 8月12日~16日

行先 四国 高松

国立療養所「大島青松園」

宿泊 大島青松園カトリック教会

費用 約13,000円

(途中参加可、大学生は補助あり)

申込・問合せ

松尾昭三

☎075(641)1261



カトリック南信協フェスティバル 9日24日開催!

「南部地区が一つに集い、祈り、喜ぶ」・「たがいに信仰をたしかめあい、深い交わりの中に喜びをわかちあう」を主旨とし、フェスティバルが1990年9月24日に開催いたします。カトリック教徒とフェスティバル(祭)と言うと、何か場違いな感じを持つ方がいらっしゃるかもしれませんが、しかし、小生が子供の頃、田舎の鎮守の杜での祭がどれほど楽しく、どれほど待ち遠しかったことかカトリック教徒になったいまでも郷愁を感じるものです。祭は立派な文化です。私達はこのフェスティバルを立派な祭に育て上げ、文化として子供達に伝える必要があるのではないのでしょうか。このフェスティバルが将来郷愁を感じる迄に昇華する……考えただけでも楽しいことではありませんか。(文責実行委員 K・M)

日時— 9月24日

午前9時30分受付

場所— 聖母女学院小学校運動場

ミサ— 司教ミサ 午前10時

ミサ後各種イベント

▼正義と平和京都協議会

「大嘗祭」講演会のご案内

日時 7月21日(土)PM7時

場所 カトリック会館6F会議室

テーマ

今、あらためて天皇制を問う

講師 千葉宣義さん(同志社大学)

▼部落問題委員会の夏合宿

日時 8月18日~19日

行先 鳥取県倉吉市

内容 人権学習・現地研修

▼多くの方のご参加をお待ちしております。部落問題委員会 ☎075(223)2291



やっぱり急ぎすぎるんですよね。結果を早く求めすぎる。改革は実にゆっくりしている。ピアノ・ピアノ、落着いて落着いて……。貧しさとの戦い、不正義との戦い、罪との戦い。パウロの改心の様にある日突然起こればよいが。それは殆んど不可能な事。私達は過越しの神秘に生きる。長い長い砂漠の旅。長い心を折る。(MT)